

平成28年度 入学式 式辞

私たち教職員が心待ちにしていた君たちの入学を満開の桜で迎えることができました。

「入学おめでとう」

今、同じ制服に身を包む新入生、602名。隣の同級生はまだ見知らぬ人。

「友達ができるか？」

「勉強についていけるか？」

「新しい環境に馴染むことができるか？」

期待以上に「不安」もいっぱいのことと思います。

しかし、新しい環境は、自分を変えるチャンスです。

「友達を作るもの。まず自分から声をかける」

「勉強は目標と計画を持って実行する」

「部活動、自主活動、クラス役員には自分から飛び込む」

大切なことは、そんな前向きな決意ができるかどうかです。

日常の些細なことでも意識して、前向きに取り組む。

その積み重ねが人を大きく成長させます。

皆さんは野村克也という人を知っていますか？

元プロ野球監督で「野村再生工場」と異名をとり、他球団を解雇された選手を次々と再生させた方です。

その野村さんが選手たちによくこう言いました。

「意識」が変われば「行動」が変わる

「行動」が変われば「習慣」が変わる

「習慣」が変われば「人格」が変わる

「人格」が変われば「人生」が変わる

日常を『意識』し、『行動』を変えれば、人生さえも変わるということです。

中日を出された山崎という選手は野村監督の下、ホームラン王にも輝きました。この言葉は君たちにも大切にしてほしい言葉です。

入学式のこの時に君たちに伝えたいことがあります。

それは、

「この桜丘では学校や教師が生徒を成長させている」のではなく、

「生徒が自分で自分を成長させている」という事実です。

私たち教師は寄り添い手助けすることしかできません。

だから君達には「誰かが何かを与えてくれる」という姿勢ではなく、

「自分で挑み、自分の手でつかみ取る」という姿勢を、

「日常で意識して行動を変える」姿勢を、

今この時から持ってほしいと願います。

桜丘の誇りは生徒たちです。

毎月11日。豊橋駅前の東日本支援の募金活動。震災直後から5年間で60回を重ね、参加者総数4415名。

気仙沼での現地ボランティアは12回、598名が参加しました。

部活動では、互いの批判も含めた激論を交わしながら切磋琢磨し、ダンス部は世界大会4連覇を、男子バスケット部はインターハイ2位を勝ち取りました。言われたことをやればいいという姿勢ではないからです。

文化祭、体育祭等の自主活動も生徒の自主運営です。

その牽引者である生徒会は行事だけでなく、生徒全員の学校生活を活気づけたいと、毎週月曜朝、校門に立ち「あいさつ運動・スマイルアップキャンペーン」を実施しています。

英数科は、学習という名の部活動、「学習クラブ」を立ち上げて4年目。朝早くから夜遅くまで、学習で自らを鍛えています。

全て、誰かに言われたわけではなく、

「自分で自分を成長させよう」という意識があったからです。

桜丘は、生徒たちの「やろう」という意識で満ち溢れています。

そんな生徒たちが桜丘の誇りです。皆さんもきっとそうなれます。

「良い学校」とはどんな学校のことを言うのでしょうか？

「偏差値が高い学校」が「良い学校」でしょうか？

進学実績、部活動の結果を残した学校が「良い学校」でしょうか？

「苦勞しながらも、生徒がいきいきと学校生活を送り、その中で人生にとって大切なことを学び、心が成長する」。

そして、「時代と社会」を生き抜く力を身に付ける。

私達はそんな学校こそが「良い学校」と考えます。

今、時代と社会は急激に変化しています。

近い将来、今ある職業の半分は無くなってしまふ、とも言われています。

だからと言って、必要以上に心配する必要はありません。

大切なことは、変化する時代と社会に翻弄されることのない「実力」を身に着けることです。

「自分の頭で考え」「判断し」「自分の足で歩む」ことができる、「本当の賢さ」、「本当の強さ」を身に着けることです。

「散歩の延長で富士山の頂上に上った人はいません」

必ず努力が必要です。

私たち教職員は「君たちを全力でサポート」します。それが私たちの使命です。だから、君達も覚悟をしてください！ 私たちはうるさく学習指導を、しつこく生活指導をします！そして、熱く部活指導をします！ うざいと思われてもやります。

誰だって短所を指摘されたくないし、指摘したくもありません。しかし、桜丘の教師はそこから逃げたり、見逃すことはしません。それは、君達に

自分と向き合ってほしいからです。

もちろん、厳しいだけが桜丘ではありません。

「一人の担任がクラスだけを面倒をみる」、「部顧問が部員だけを面倒をみる」

ではなく、「100人の教職員が全ての生徒の面倒をみる」それが桜丘です。何かあれば誰にでも相談してください、頼ってください。

保護者の皆様へ、お子様のご入学おめでとうございます。高校生はもっとも多感な時期です。元気な時ばかりではなく、落ち込むときも、反発するときもあると思いますが、あわてることなく、大きく構えてください。

そして、どうか、「話す」ことより「聞く」ことを心掛けてください。

気になることは遠慮なく私たち教師に伝えてください。

家庭や学校だけでは、できないことも、両者が手を携えることによって解決できます。些細なことでも私たちに投げかけてください。

最後に、新一年生602名の桜丘での生活が「時に苦勞や涙があっても、成長と達成感のある3年間とする」ことに、私たち全教職員が努力することをお誓いして、式辞とさせていただきます。

桜丘高等学校長 渡邊 学